

日本共産党演説会 流山

日本共産党
流山東部
後援会

ニ
ュ
ー
ス
わ
か
ば

歴史的岐路に立つ日本の政治 新しい日本の展望を語る



弁士 党委員長/衆議院議員

志位和夫

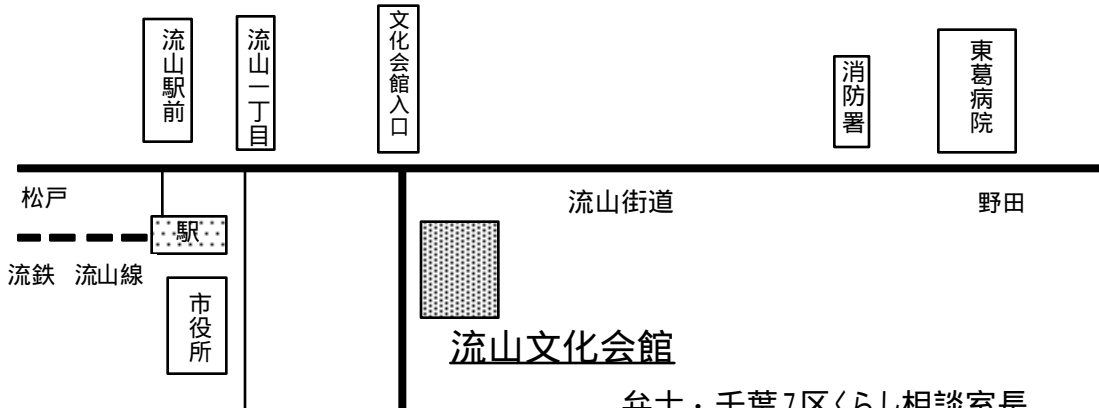
5月18日(金)午後7時~

流山文化会館大ホール

写真左：志位和夫日本共産党委員長
写真右下：かりの満・衆院千葉7区予定候補

部内資料
発行責任者
竹内和男

Tel・fax: 7143-3086



弁士・千葉7区暮らし相談室長

かりの 満

- ・1949年9月28日東京都荒川区生まれ
- ・都立荒川高校定時制卒業
- ・民間会社勤務を経て、東京都障害児学校および高校で2012年3月まで事務
- ・東京都障害児学校教職員組合で活動
- ・日本共産党千葉7区暮らし相談室長

日本共産党は、志位和夫委員長
の全国遊説の一環として、5
月18日(金)午後7時から流山
市文化会館で演説会を開催し
ます。

歴史的岐路に立つ日本の政治
変革者 日本共産党の真価を、
志位和夫委員長がお話します。
国民が主人公の希望ある日本
にどんな展望が開けてくるのか
。

お誘い合わせのつえ、流山での
志位委員長の話は、是非お聞
きください。

また、千葉7区の候補者に決
定した、かりの満(みづる)千葉7区くら
し相談室長もお話します。

当日は、南柏駅前などから直
通バスを準備中です。詳しくは、
別途お知らせします。



日本の巨大メディア を考える

執筆

志位和夫

目次

- ・日本の巨大メディアの社会的影響力
- ・大手新聞とテレビ局が系列化
- ・ニューヨーク・タイムズ紙
- ・ウォーターゲート事件・イギリスのBBC
- ・フランスのル・モンド紙
- ・「しんぶん赤旗」の役割

権力に屈することなく真実を報道する「しんぶん赤旗」
の役割は、巨大メディアが思想支配している日本におい
てとても大きいと実感しました。(男性 29歳)

100円パンフ A5判24ページ
お申し込みは：徳増きよ子事務所へ 7144-1753



日本共産党流山市議会議員
徳増きよ子

東小学校前市道、
保育所・福祉会館側
にも歩道を

東小学校前の市道は、片側には歩道がありますが、新しく開園した「みらい保育園」や、「名都借福祉会館」側には歩道がありません。これまでは名都借公立保育所への出入り口は2か所ありましたが、みらい保育園への出入り口は、東小学校前の道から入って、

名都借福祉会館前の通路のみとなつています。小中学校への通学時と「みらい保育園」への通園時が重なる朝の時間帯は、片側のみの歩道では危険な状態になっています。

そのため、毎朝、子どもの見守りをされている方からも、「横断歩道を渡る子どもと、保育園に通う親子が集中し、見通しも悪く危険、保育園側にも歩道がほしい」という訴えが寄せられています。

東小学校前には、「木の図書館」がオープンしましたが、歩道ぎりぎりのフェンスや、歩道が狭くなっている箇所があり、「改善してほしい」との訴えも寄せられています。流山市に現地調査を要求し、早急に「みらい保育園」側への歩道の設置と、危険な歩道の改善をすよう求めます。



新婦人が流山市と懇談

子どもを
放射能汚染から
まもるために

新婦人流山支部は4月17日流山市放射能対策室と懇談しました。

新婦人では、去年の11月から今年の3月末まで、市内の小学校と通学路周辺や、子どもも多く集まる公園周辺で放射能測定をし、地図に測定場所と測定値を記入して、市に提出し、即刻、除染するよう要望しました。

懇談では、中学校3年生までの子どもがいる家庭で、除染申し込みが1197件あり、効率を考え、地域ごとにまと

めて行うので、申し込み順とはならない。除染は国の基準に従うとする。学校等公用地は始めている。校庭の数値の高いところは、表面をはがして校庭の一部に埋め込む。校舎は高圧洗滌する。

国からの予算を含め14億円の予算のうち、民有地は650万円である。民有地には大型機器は使用せず、雨どい、落ちるところ、下草が対象で屋根はしない。

子どもの健康診断はしない。相談は申し込みで保健センターが窓口である。給食の食品は検査している等々、短時間の懇談は、質問要望が残されています。

(松ヶ丘 谷川光江)

鴨川市で
志位さん、はたのさん
を囲むつどい

総選挙勝利 志位さん、はたのさんを囲む日本共産党後援会南関東支部

ロッキン連絡会のつどいが、4月14日、15日、千葉県鴨川市で開かれ、神奈川、山梨、千葉の3県から850人が参加し、2議席獲得を誓いました。

日本共産党の志位和夫委員長が講演し、「二大政党づくり」が破綻するもとで、経済と外交の二つの角度から、日本改革のビジョンを明らかにし、次期総選挙での新たな躍進をつくる展望を示しました。



(写真左)講演する志位和夫委員長(14日、鴨川市)

リストラ・失業、生活苦・生活保護、年金、所得税・住民税・国保料、介護サラ金・ローンのこと、行政への要望など困ったら.....お電話をお待ちしています。緊急の方は、いつでも携帯へご連絡ください。

無料生活相談は
日曜日(午後1~3時)

日本共産党市議会議員
徳増きよ子事務所
生活相談室

電話/Fax: 7144-1753
携帯: 090-8342-3141
松ヶ丘2-330-144(松ヶ丘郵便局前)

経済の分野では「消費税に頼らない別の道がある」とし、日本共産党の「提言」の活用を強調。「応能負担」の原則にたつた税制改革など反動的逆流に立ち向かう党の躍進を訴えました。

外交の分野では、米軍普天間基地問題や環太平洋連携協定(TPP)をめぐる「こんなアメリカいいなりでいいのか」と国民の声が広がっていることをしめし、「根本にある日米安保条約の是非を国民的に問う時期にきている」と提起しました。

その上で、日米安保条約をなくせば、米軍基地の重圧から日本国民が一気に解放される。日本が戦争の震源地から憲法9条を生かした平和の発信地になる。日本の経済主権を確立するたしかな保障がつくれる。という三つの展望

がひらけることを例をあげて明らかにしました。「大阪維新の会」の動きについては、「二大政党づくり」の破綻がもたらす反動的な流れと位置づけ、「思想調査」など民主主義を窒息させる恐怖と独裁の政治を行う危険性を解明しました。

最後に、志位さんは「どの分野でも問題解決の展望を語る総選挙にしていきましょう」と力強く訴えると、大きな拍手がわきました。

